

国際極年 2007-2008 シンポジウム

- 地球規模の変動現象と極域の役割り -

日時：平成 22 年 3 月 1 日 (月)
10:00 ~ 17:35

会場：日本学術会議講堂

IPY 2007-2008 symposium

-Global Change and Polar Science-

PROGRAM

- | | |
|-------------|--|
| 10:00~10:05 | 開催の挨拶 佐藤夏雄 (国立極地研究所・副所長) |
| 10:05~11:35 | 第1部：国際極年を振り返って
・南極域における国際極年の研究活動
白石和行 (国立極地研究所・副所長)
・北極域の陸域・海洋・大気研究
大畑哲夫 (海洋研究開発機構・プログラムディレクター)
・両極域における海洋-海水変動と温暖化
大島慶一郎 (北大低温研究所・教授) |
| 11:35~12:15 | 第2部：国際極年での研究活動報告 (1) (No. は、IPY/IPO 公認番号)
・南北両極域から見る電離圏・磁気圏現象とその共役性 (No.63)
山岸久雄 (国立極地研究所・教授)
・南極昭和基地におけるオゾン層変動総合観測 (No.99)
中島英彰 (国立環境研究所・主席研究員) |
| 12:15~13:30 | ポスター発表 |
| 13:30~15:50 | 第2部：国際極年での研究活動報告 (2)
・北極大気中のブラックカーボンエアロゾルの起源・季節変動及び物理・化学特性 (No.32)
近藤 豊 (東大先端研研究所・教授)
・北極海観測における国際極年
菊地 隆 (海洋研究開発機構・チームリーダー)
・南極域の海洋研究、CAML 関連 (No.53)
福地光男 (国立極地研究所・教授)
・南北両極における環境変動への微生物学的・生態学的応答 -MERGE- (No.55)
神田啓史 (国立極地研究所・教授)
・東シベリア・スタルハイアータ地域の雪氷環境変動 (No.37)
高橋修平 (北見工大・教授)
・日本スウェーデン共同内陸トラバース観測 (No.152)
藤田秀二 (国立極地研究所・准教授)
・南極セールロンダーネ山地における国際共同地学調査
外田智千 (国立極地研究所・准教授) |
| 16:00~17:30 | 第3部：ポスト国際極年へ向けての提言
・南極昭和大型大気レーダー計画 (No.9)
佐藤 薫 (東大大学院理学系研究科・教授)
・北極海の酸性化
川合美千代 (カナダ漁業海洋省海洋科学研究所・研究員) |
| | 総合討論 |
| 17:30~17:35 | 閉会の挨拶 藤井理行 (国立極地研究所・所長) |

日本学術会議・<http://www.scj.go.jp/>
(アクセス) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口すぐ

主催：日本学術会議 地球惑星科学委員会 国際対応分科会 (IPY2007-2008 対応小委員会)
情報・システム研究機構 国立極地研究所
共催：独立行政法人 海洋研究開発機構

問い合わせ先：情報・システム研究機構 国立極地研究所内 IPY2007-2008 対応小委員会事務局
E-mail: ipy2007@nipr.ac.jp